令和７年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育研究指定校事業＞

都道府県・指定都市名	大阪府	学校名	大阪府立福井高等学校

人権課題	子供	対象学年・取り扱った教科等	全ての学年 日本語文法Ⅰ Ⅱ・日本語読解Ⅰ Ⅱ	時数等	週１時間

目標・人権教育のねらい	『日常で使える日本語の基礎力を向上し、信頼を生むコミュニケーション力を育てる』

実施した内容	子どもの権利条約にあるように、子どもを守り、参加する権利を保障する取組みが一層求められている。そのため、本校では日本語指導が必要な生徒に対して、研究指定校独自の学校設定教科「日本語文法Ⅰ Ⅱ」「日本語読解Ⅰ Ⅱ」による日本語指導のカリキュラム編成を導入した日本語指導の取組みを実践する。日本語指導が必要な生徒に日常場面で使える日本語の基礎力を向上し、信頼を生むコミュニケーション力を育てる中で、学校全体で多文化共生社会の構築につながる意識を育み、日本語指導が必要な生徒を含むすべての生徒の「生きる力」を育む基盤としての人権教育を行う。

工夫した点	①　子どもを守り、参加する権利を保障する取組みとして、日本語指導が必要な生徒を中心に、研究指定校独自の学校設定教科「日本語文法Ⅰ Ⅱ」「日本語読解Ⅰ Ⅱ」や日本語指導のカリキュラム編成を導入した日本語指導の取組みを実践する。日本語指導の取組みにおいては、デジタルとアナログの両面からアプローチを行い、日常場面で使える日本語の基礎力を向上し、信頼を生むコミュニケーション力を育てるとともに、授業担当者の会議等で成果と課題を検証する。 ②　研究指定校が所在する茨木市や近隣の諸団体と連携し、研究指定校の多文化共生の取組みを広く周知するとともに、学校全体で多文化共生社会の構築につながる意識を育み、生徒全員の「生きる力」を育む基盤としての人権教育を推進する。

令和７年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育研究指定校事業＞

他教科との関連	－
事業成果	①　自己実現のための日本語の授業づくり（日本語指導） 　日本語・母語継承後を駆使した思考力を育成する授業づくりを行い、日本語でのコミュニケーション能力を育成する。 【学校教育自己診断　授業はわかりやすく楽しい　R6 72.8%　→　R7 78.3%】 ②　日常で使える日本語の基礎力の向上に向けた支援（キャリア支援教育「日本語文法Ⅰ」「日本語読解Ⅰ」を中心に、学習支援アプリ『くらしスタディ』を導入） 【学校教育自己診断　先生は教え方に工夫をしている　R6 86.0%　→　R7 89.9%】 　一人一台端末を活用し、全ての生徒の日常で使える日本語基礎力を向上させ、信頼を生むコミュニケーション力を育てるとともに、地域企業との連携など日本社会での進路実現をめざしたキャリア支援教育を充実させる。 ③　校内での多文化共生の取組み 　日本語指導が必要な生徒の自己効力感を高めるとともに、校内へその活動をフィードバックすることで多文化共生についての全生徒の理解を深める。 【学校教育自己診断 　環境、多文化共生、ボランティアなどについて学習する機会がある　R6 83.9%　→　R7 84.7%、 　外国から来日した生徒と共に学ぶ環境が整えられている　R6 85.8%　→　R7 86.9%】 ＜多文化共生部コスモスでの活動＞ ・放課後の活動 ・文化祭や多文化授業発表会等で民族衣装での舞踊の発表や各国の文化の展示等 ・校内でコスモスカフェ交流会を実施 ・地域の小・中学校等へゲストティーチャーとして訪問し民族文化の紹介

令和７年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育研究指定校事業＞

都道府県・指定都市名	大阪府	学校名	大阪府立福井高等学校

人権課題	外国人	対象学年・取り扱った教科等	全ての学年 日本語文法ＩⅡ・日本語読解ＩⅡ	時数等	週１時間

目標・人権教育のねらい	『日常で使える日本語の基礎力を向上し、信頼を生むコミュニケーション力を育てる』

実施した内容	日本語指導が必要な生徒に対して、研究指定校独自の学校設定教科「日本語文法ＩⅡ」「日本語読解ＩⅡ」による日本語指導のカリキュラム編成を導入した日本語指導の取組みを実践する。日本語指導の取組みについては、デジタルとアナログの両面からアプローチを行い、日常場面で使える日本語の基礎力を向上し、信頼を生むコミュニケーション力を育てる。また、体系的な日本語指導メソッドの確立を行うことで、枠校として、府立高校全体へ還元できる取組みを行う。 また、学校内外での行事や活動の充実を通して、学校全体で多文化共生社会の構築につながる意識を育み、日本語指導が必要な生徒含むすべての生徒の「生きる力」を育む基盤としての人権教育を行う。

工夫した点	①　日本語指導が必要な生徒を中心に、研究指定校独自の学校設定教科「日本語文法ＩⅡ」「日本語読解ＩⅡ」や日本語指導のカリキュラム編成を導入した日本語指導の取組みを実践する。日本語指導の取組みにおいては、デジタルとアナログの両面からアプローチを行い、日常場面で使える日本語の基礎力を向上し、信頼を生むコミュニケーション力を育てるとともに、授業担当者の会議等で成果と課題を検証する。 ②　研究指定校が所在する茨木市や近隣の諸団体と連携し、研究指定校の多文化共生の取組みを広く周知するとともに、学校全体で多文化共生社会の構築につながる意識を育み、生徒全員の「生きる力」を育む基盤としての人権教育を推進する。

令和７年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育研究指定校事業＞

他教科との関連	―
事業成果	①　自己実現のための日本語の授業づくり（日本語指導） 　日本語・母語継承後を駆使した思考力を育成する授業づくりを行い、日本語でのコミュニケーション能力を育成する。 【学校教育自己診断　授業はわかりやすく楽しい　R6 72.8%　→　R7 78.3%】 ②　日常で使える日本語の基礎力の向上に向けた支援（キャリア支援教育「日本語文法Ⅰ」「日本語読解Ⅰ」を中心に、学習支援アプリ『くらしスタディ』を導入） 【学校教育自己診断　先生は教え方に工夫をしている　R6 86.0%　→　R7 89.9%】 　一人一台端末を活用し、全ての生徒の日常で使える日本語基礎力を向上させ、信頼を生むコミュニケーション力を育てるとともに、地域企業との連携など日本社会での進路実現をめざしたキャリア支援教育を充実させる。 ③　校内での多文化共生の取組み 　日本語指導が必要な生徒の自己効力感を高めるとともに、校内へその活動をフィードバックすることで多文化共生についての全生徒の理解を深める。 【学校教育自己診断 　環境、多文化共生、ボランティアなどについて学習する機会がある　R6 83.9%　→　R7 84.7%、 　外国から来日した生徒と共に学ぶ環境が整えられている　R6 85.8%　→　R7 86.9%】 ＜多文化共生部コスモスでの活動＞ ・放課後の活動 ・文化祭や多文化授業発表会等で民族衣装での舞踊の発表や各国の文化の展示等 ・校内でコスモスカフェ交流会を実施 ・地域の小・中学校等へゲストティーチャーとして訪問し民族文化の紹介

令和７年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育研究指定校事業＞

都道府県・指定都市名	大阪府	学校名	大阪府立福井高等学校

人権課題	その他（総合的内容【成果発表会「ドリカムフェスタ」】	対象学年・取り扱った教科等	全ての学年 総合的な探求の時間・産業社会と人間	時数等	週２～３時間

目標・人権教育のねらい	『日常で使える日本語の基礎力を向上し、信頼を生むコミュニケーション力を育てる』
実施した内容	AI（人工知能）の発達や人口減少など社会構造の変化によって、職業の在り方などに大きな変化が予想されるなか、キャリア教育の重要性はますます増している。すべての生徒のキャリア発達を促し、自尊感情を高め、自立と自己実現を支援するため、研究指定校独自の学校設定教科「総合的な探求の時間」「産業社会と人間」によるキャリア教育を推進するとともに、成果発表会「ドリカムフェスタ」を通して、キャリア教育の成果を発表し、学校内外での行事や活動の充実を図る。
工夫した点	①　成果発表会「ドリカムフェスタ」 成果発表会「ドリカムフェスタ」を通して、キャリア教育の成果を発表し、学校内外での行事や活動の充実を図る。 ②　すべての児童生徒のキャリア発達を促し、自尊感情を高め、自立と自己実現を支援するため、研究指定校独自の学校設定教科「総合的な探求の時間」「産業社会と人間」によるキャリア教育を推進する。

令和７年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育研究指定校事業＞

他教科との関連	－

事業成果

①　成果発表会「ドリカムフェスタ」
　成果発表会「ドリカムフェスタ」を通して、キャリア教育の成果を発表し、学校内外での行事や活動の充実を図る。
【学校教育自己診断　授業はわかりやすく楽しい　R6 72.8%　→　R7 78.3%】

②　「総合的な探求の時間」「産業社会と人間」
　一人一台端末を活用し、全ての生徒のキャリアへの意識を向上させ、日本社会での進路実現をめざしたキャリア支援教育を充実させる。
【学校教育自己診断　先生は教え方に工夫をしている　R6 86.0%　→　R7 89.9%】

③　校内での多文化共生の取組み
　日本語指導が必要な生徒の自己効力感を高めるとともに、校内へその活動をフィードバックすることで多文化共生についての全生徒の理解を深める。
【学校教育自己診断
　環境、多文化共生、ボランティアなどについて学習する機会がある　R6 83.9%　→　R7 84.7%、
　外国から来日した生徒と共に学ぶ環境が整えられている　R6 85.8%　→　R7 86.9%】
＜多文化共生部コスモスでの活動＞
・放課後の活動
・文化祭や多文化授業発表会等で民族衣装での舞踊の発表や各国の文化の展示等
・校内でコスモスカフェ交流会を実施
・地域の小・中学校等へゲストティーチャーとして訪問し民族文化の紹介